

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】令和 1 年 9 月 12 日 (2019.9.12)

【公開番号】特開 2017-39316 (P2017-39316A)

【公開日】平成 29 年 2 月 23 日 (2017.2.23)

【年通号数】公開・登録公報 2017-008

【出願番号】特願 2016-153385 (P2016-153385)

【国際特許分類】

B 4 1 M 5/00 (2006.01)

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

C 0 9 D 103/02 (2006.01)

C 0 9 D 7/40 (2018.01)

【F I】

B 4 1 M 5/00 A

B 4 1 J 2/01 1 2 3

B 4 1 J 2/01 1 0 1

B 4 1 J 2/01 5 0 1

C 0 9 D 103/02

C 0 9 D 7/12

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 7 月 31 日 (2019.7.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

水性インク画像作成システムの中間転写体上の犠牲コーティングであって、この犠牲コーティングが、

ワックス状デンプンと；

少なくとも 1 つのポリカルボン酸架橋剤と；

少なくとも 1 つの吸湿性材料と；

少なくとも 1 つの界面活性剤と

を含む成分から作られる、犠牲コーティング。

【請求項 2】

ワックス状デンプンが、ワックス状トウモロコシデンプン、ワックス状米デンプン、ワックス状キャッサバデンプン、ワックス状ジャガイモデンプン、ワックス状小麦デンプンおよびワックス状大麦デンプンからなる群から選択される少なくとも 1 つのデンプンを含む、請求項 1 に記載の犠牲コーティング。

【請求項 3】

少なくとも 1 つのポリカルボン酸が、ジカルボン酸およびトリカルボン酸からなる群から選択される、請求項 1 に記載の犠牲コーティング。

【請求項 4】

少なくとも 1 つのポリカルボン酸がクエン酸である、請求項 1 に記載の犠牲コーティング。

【請求項 5】

少なくとも 1 つのポリカルボン酸が水溶性ポリマーカルボン酸である、請求項 1 に記載

の犠牲コーティング。

【請求項 6】

犠牲コーティングは、さらに、i) ポリビニルアルコール、及び i i) ビニルアルコールとアルケンモノマーのコポリマーからなる群から選択される少なくとも 1 つのポリマーを有する、請求項 1 に記載の犠牲コーティング。